

PHSカードのバージョンアップ

拝啓 毎々格別のお引き立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、本ご案内は弊社テレタイムi（タイムレコーダー）で PHS 通信を行っているユーザー様に限りご案内です。ご利用のユーザー様は下記内容をご確認ください。

敬具

記

すでにウィルコム社からご案内が届いているかと存じますが、2012 年の 3/15~4/30 にかけて、ご利用の PHS カードのバージョンアップが行われます。当該期間に通信を行いますと自動的に PHS カードのソフトのバージョンアップが行われますので、必ず通信（テレタイムの打刻時刻の取得）を行ってください。この期間に通信が行われないと、ソフトの更新ができませんので、5/1 以降通信ができなくなりますので、ご注意ください。予備に PHS カードをお持ちの場合は、一旦テレタイムに装着して通信を行ってください。通信は時刻合わせだけでも構いません。万が一通信を行わずに当該期間を過ぎた場合は、ウィルコム社にご連絡ください。PHS カードをお預かりしてバージョンアップを行います。バージョンアップの必要性等、詳細は次ページを参照ください。

以上

ウィルコム社ご案内 <http://www.willcom-inc.com/ja/cch/index.html>

移行スケジュール

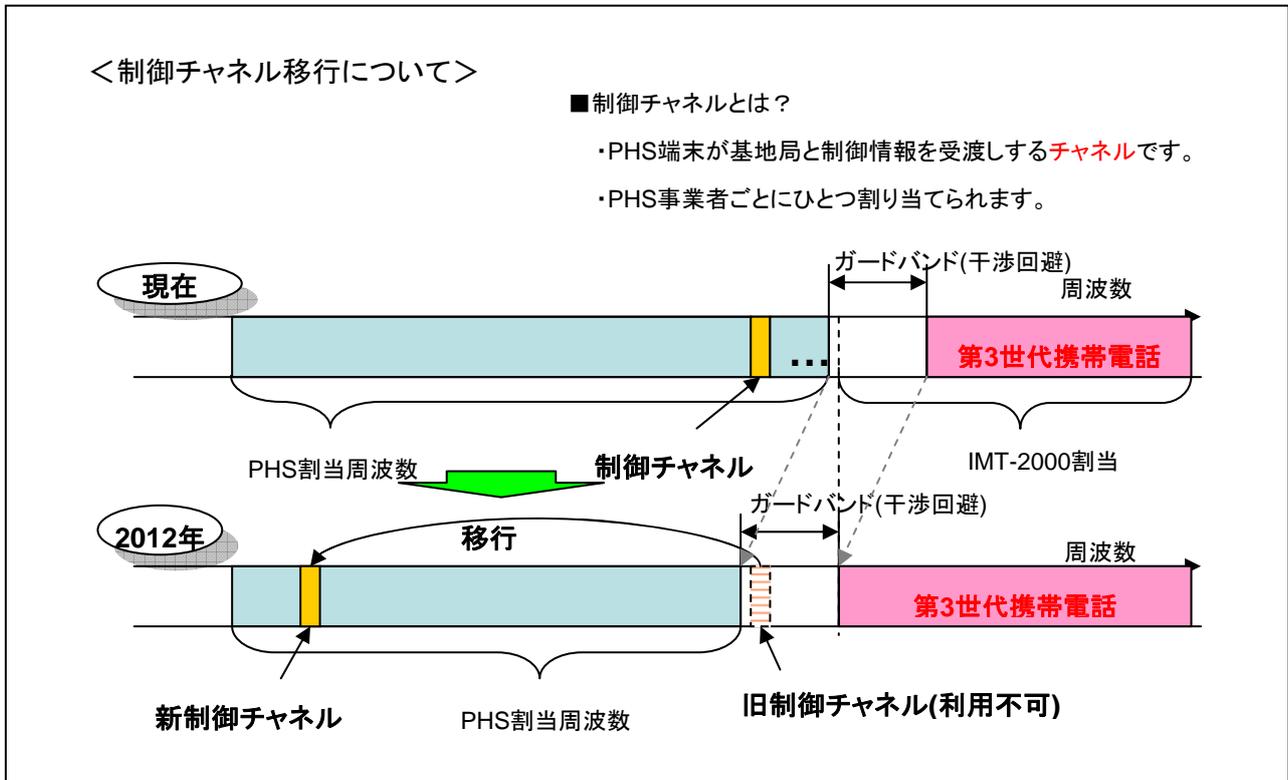


今後もお使いいただくには、通信の実施が必要です

※ 紐込み機器でご利用の場合は、移行期間中に1回でも電源を入れて待ち受け状態になれば、継続利用可能です

- ※ 万が一、上記期間を過ぎてしまった場合でも、バージョンアップを行っていただければ今後ご利用可能です。
- ※ テレタイムでご利用の PHS カードは、通信でのバージョンアップが可能です。

今回のバージョンアップは、以下の図の通り制御チャンネルを移動するためです。



【参考】電波法関連省令の改正について

総務省(当時の郵政省)より「PHSの高度利用及び周波数有効利用の促進」に関して情報通信審議会が諮問を受け、「IMT-2000との共存下におけるPHSの高度化に必要となる無線設備の技術的条件」を答申しました。この答申を受け電波法関連省令の改正が行われ、IMT-2000とPHSの電波干渉を効率よく行う共存技術として、PHSの制御チャンネルの移行実施が義務付けられました。